

| 1-1 建物概要 |                         | 1-2 外観 |                   |
|----------|-------------------------|--------|-------------------|
| 建物名称     | (仮称)大和市中央5丁目計画 新築工事     | 階数     | 地上12F             |
| 建設地      | 神奈川県大和市中央5丁目488-4、488-5 | 構造     | RC造               |
| 用途地域     | 近隣商業地域、準防火地域            | 平均居住人員 | 150 人             |
| 地域区分     | 6地域                     | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値)   |
| 建物用途     | 集合住宅                    | 評価の段階  | 実施設計段階評価          |
| 竣工年      | 2023年8月 予定              | 評価の実施日 | 2022年1月12日        |
| 敷地面積     | 1,503 m <sup>2</sup>    | 作成者    | 株式会社スタイレックス 清野 正裕 |
| 建築面積     | 426 m <sup>2</sup>      | 確認日    | 2022年1月12日        |
| 延床面積     | 3,570 m <sup>2</sup>    | 確認者    | 株式会社スタイレックス 清野 正裕 |

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

| 3 設計上の配慮事項   |   |   |
|--|---|---|
| <b>総合</b><br>企業理念でもあるものづくりの根底にある「匠」の精神。様式美による普遍的価値、凛とした佇まいが醸す心地よい緊張感、静寂を感じさせる意匠、日本人のDNAに直接語りかけてくるデザイン、をコンセプトとしています。シンメトリー、水平ライン、陰影、格子、という日本建築の要素を採用することで本計画は体现しています。また周辺環境にも配慮した配置(近隣建物よりなるべく離隔を確保するように敷地中央に配置)、隣接する公園も意識した緑化環境を計画しています。 |   | <b>その他</b><br>特になし  |
| <b>Q1 室内環境</b><br>室内環境について、T-2サッシを採用し、高い昼光率を確保している。また、断熱等性能等級4とし、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に務めている。  | <b>Q2 サービス性能</b><br>住宅性能評価における劣化対策等級3とし、居室天井高、階高にゆとりを持たせた設計としている。 | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>特になし                                       |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>断熱等性能等級4、建物全体BEI=0.99としている。  | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>特になし                                       | <b>LR3 敷地外環境</b><br>LCCO <sub>2</sub> 排出率82%とし、光害抑制にも配慮した設計としている。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される